

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 要人往来（総務長官等閣僚訪沖）(2)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-22 キーワード (Ja): 床次総務庁長官, ランパート米国高等弁務官, 中曽根防衛庁長官, ランパート米国高等弁務官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43237

三木前外相訪沖(45.7.30.5.8.1)

ONTARIO 任本日行程、半仙肉保以
 層2 ONTARIO 入港外打申し入れておす。物/

85.7.21号

衆議院議員 三木武夫 } 訪洋日程
 菅波 茂 }
 日井 莊一 }
 三木議員秘書 浅野

月日	時	間	備	要
7月30日	9:50	~ 10:30	羽田発 (JAL 721便)	大阪経由 那覇着
(休)	10:35	~ 11:00	記者会見	於空港到着
	11:00	~ 11:15	空港発	沖縄県会着
OK	14:15	~ 15:15	高瀬大使訪問	
	15:15	~ 15:30	準備委員会発	琉球政府着
	15:30	~ 16:30	主席訪問	琉球政府者胸の懇談
	16:30	~ 16:45	琉球政府発	沖縄事務所着
	16:45	~ 17:15	事務所概要聴取	
	17:15	~ 17:40	沖縄事務所発	東急ホテル着
7月31日	9:00	~ 9:15	東急ホテル発	立法院着
(休)	9:15	~ 10:15	立法院議長訪問	自民党幹部との懇談
	10:15	~ 10:30	立法院発	東急ホテル着
	10:30	~ 12:00	経済団体代表との懇談	
	12:00	~ 13:00	昼食	
	13:10	~ 14:00	東急ホテル着	高等弁務官府着
	14:00	~ 14:30	高等弁務官訪問	
	14:30	~ 15:00	四重のブリッキング	

千葉洋行 担当 9.2.9

日本政府

15:00	~ 15:15	高等弁務官府発	東急ホテル着	
15:15	~ 15:45	嘉手納基地視察		
15:45	~ 17:30	基地発	東洋石油、エッソ 視察 東急ホテル着	
7月1日	9:00	~ 9:30	東急ホテル発	海軍壕着
(休)	9:30	~ 10:10	海軍壕視察	
	10:10	~ 12:00	海軍壕発	南即戦跡巡拝 (おめかり、健児、島守、れいめい、徳島、福島) 東急ホテル着
	12:00	~ 13:00	昼食	(東急ホテル)
	13:00	~ 13:30	休付	(")
	13:30	~ 13:45	東急ホテル発	安謝港着
	13:45	~ 14:00	安謝港視察	
	14:00	~ 16:00	安謝港発	市内視察 (国際通) 空港着
	16:00	~ 16:30	記者会見	於空港到着
	17:00	~ 17:15	那覇発	羽田着 (JAL 706便)

日本政府

ONTA 佐本白平君、半仙肉保以
 后2 ONONTA 入 海外 打申 (入札 改 由 物)

85, 712 / 号

月日	時	間	場	要
28日	7:50	~ 13:30	羽田発 (JAL 701便)	大阪経由 那覇着
(休)	13:35	~ 14:00	記者会見	於 那覇 貴賓室
	14:00	~ 14:15	空港係、準備委員会	
	14:15	~ 15:15	山瀬大使訪問	
	15:15	~ 15:30	準備委員会、琉球政府着	
	15:30	~ 16:30	主席訪問、琉球政府首脳との懇談	
	16:30	~ 16:45	琉球政府、沖縄事務局着	
	16:45	~ 17:15	事務局概要聴取	
	17:15	~ 17:45	沖縄事務局、東急ホテル着	
28日	9:00	~ 9:15	東急ホテル発、立法院着	
(休)	9:15	~ 10:15	立法院議長訪問、自民党幹部との懇談	
	10:15	~ 10:30	立法院発、東急ホテル着	
	10:30	~ 12:00	経済団体代表との懇談	
	12:00	~ 13:00	昼食	財界
	13:10	~ 14:30	東急ホテル着、高等弁務官到着	
	14:30	~ 14:50	高等弁務官訪問	
	14:50	~ 15:00	四葉のブリーフィング	

衆議院議員 三木武夫 } 訪沖日程
 菅波茂 }
 日中荘一 }
 三木議員秘書 浅野

千条 隆夫
 大使 該案より意向ある場合は
 廿日又は廿一日夜に
 多々しり連絡 取りたい
 ① 設置に30日大使OK、20日
 ② 31に30日改め確認
 30日

7/12/2 - 基地関係 31日 是日 出立者
 075, Second Ref. 地上
 30日 左 高 踏、洗 掃 機、10
 31日 3110-1 北 基 7印11-1
 大使 局長 平田 部長

大田 部長
 31日 3110-1 北 基 7印11-1

15:00~15:15 高等弁務官府邸、出=ゲト着
 15:15~15:45 嘉手納基地視察
 15:45~17:30 基地発、東洋石油、エッソ、視察 東急ホテル着

 11/10 9:00~9:30 東急ホテル発、海軍壕着
 (2) 9:30~10:10 海軍壕視察
 10:10~12:00 海軍壕発、南部戦跡巡拝(おめかり、健児島守
 れいめい、徳島、福島)、東急ホテル着
 12:00~13:00 昼食(東急ホテル) 春駒 大塚
 13:00~13:30 休けり()
 13:30~13:45 東急ホテル発、家謝港着
 13:45~14:00 家謝港視察
 14:00~16:00 家謝港発、市内視察(国際通り) 空港着
 16:00~16:30 記者会見 於空港貴賓室
 17:00~17:15 那覇発、羽田着 (JAL 906便)

原田三郎招待17:20
 申し越し、三木大塚
 O.K. 9 回答 04
 大塚 O.K.

(回覧番号 1683) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印) 平	符号表示 暗 略 平	※ 総第 23 065 号
	※ 第 137 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 発 45.7.23 17 19
	大至急 (至急) 普通 · LTF	※ 発電係 安藤

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 長	主管 アメリカ局長 参事官 北米才一課長	主管局部課 (室) 名 米北1 起案 昭和 45年 7月 22日 起案者 吉川 電話番号 445
---	-------------------------------	---

協成先 官房業務参事官
官房書記 高橋大使了
国会班

大使 臨時代理大使
在 沖繩 吉岡 総領事 代表代理 保利 大臣 宛

電 在 大使 臨時代理大使
報 総領事 代理 宛

件名 三木前大臣の訪沖

三木前大臣は30日 JAL 721 に 2 号地
着 8月1日 宛の予定で訪沖された。趣向として
便宜供与等については 沖繩事務局で行政的
ことについては 由 40号、前外務大臣
(米側要人と9面会等) 7号
のため、ことには 鑑子、貴代表部においた

漢

電信課長
代電

写
濟

104

(※印刷内は電信課記入)

(昭和四二七一改正)

GB-1

-2-

沖繩事務局と連絡の上
然るべく側面に協力ありたい。以下
同行者氏名次の通り。
菅波 茂 議員
白井 莊一 前議員
浅野 輔 秘書
(3)

GB-3

外務省

三木議員一行日程

三木 衆議院議員一行沖繩訪問日程 (案)	
(初日) 7月30日 (木)	
時間	事項
9:50 ~ 13:30	羽田発(日航721便 羽田発) 那覇着
13:30 ~ 14:00	記者会見 (空港貴賓室)
14:00 ~ 14:15	空港着 ~ 那覇市役所着
14:15 ~ 15:15	新報大塚訪問
15:15 ~ 15:30	那覇市役所着 ~ 琉球政府着
15:30 ~ 16:30	琉球政府行政長官訪問 (行政長官邸での懇談)
16:30 ~ 16:45	琉球政府着 ~ 沖縄事務局着
16:45 ~ 17:15	事務局棟で聴取
17:15 ~ 17:40	沖縄事務局着 ~ 東京市元着
	東京市元泊
19:00 ~ 21:00	三木邸にて夕食会
	同行者 橋口 龍 議員
	菅波 茂 議員
	白井 莊 前議員
	浅野 彌 秘書

対策2181入平929

(次日) 7月31日 (金)

9:00 ~ 9:15	東京市元着 ~ 立法院着
9:15 ~ 10:15	立法院議員訪問 (自民党幹部との懇談)
10:15 ~ 10:30	立法院着 ~ 東京市元着
10:30 ~ 12:00	経済団体代表との懇談 (東京市元)
12:00 ~ 13:00	昼 食 民政社着
13:10 ~ 13:20	東京市元着 ~ 那覇市役所着
13:20 ~ 13:50	那覇市役所訪問 フォトリポグラフィ
13:50 ~ 14:20	14:120 那覇概況説明 (那覇市役所)
14:20 ~ 14:50	那覇市役所着 ~ 那覇市元着
14:50 ~ 15:10	那覇市元着 ~ 那覇市元着
15:10 ~ 15:40	那覇市元着 ~ 那覇市元着
15:40 ~ 19:30	那覇市元着 ~ 那覇市元着 途中 (エッセイ、経済及油、エッセイ、石油) 埋立地視察
19:30 ~ 21:00	民政党主催夕食会
21:00	民政党公邸着 東京市元へ

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

。しゆく明的のことは事実において示すことはよいが、口頭せんの的になつてはならないと申述べ。上原の国政参加立
 ころ補との関係も検討に値いすると付加したが、弁務官は
 。自分もその通りと思うが、何分の協力及びアドバイスを
 お願ひしたいと述べた。

(1)

— 3 —

抄写

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

278

ソカヒ 万大 博阪

大政事外務省
 務次 典房
 臣官官審審長長
 儀総人電厚計
 機電文会當給
 国 参調...企
 資長 領移長

ア 参地中東
 長 北東西
 参北北保
 中南
 参一
 参西東洋
 長 西

近ア 参書近ア
 長 次総経国万

長 参質統
 参政技二
 参条協規
 長 参政経科
 参道内外
 文長

総番号(TA) 37606 主管
 70年7月31日10時59分 沖繩 発着
 70年7月31日15時01分 本 省 米北1
 外務大臣殿、高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理
 三木・ヤラ会議

第233号 略

賃電米北/第137号に關し

30日。三木前外務大臣一行とヤラ主席の会談の際主席の
 ちん情した要旨次の通り。(当方ヨシオカ公使同席)

1. おきなわ住民は戦争の直接のぎせい者となり戦後は戦
 後処理の一かんとしてけん民のふくしよりも基地ゆう先の
 政策のぎせいとなつた。今後アアジアのため、国のためと
 いうことでけん民がいつも「手段」に供され。その「フグ
 シ」が第2義的にされるのではないかというけ念があるこ
 とを先づそつ直に申し上げたい。従つて、かかる不遇にた
 えぬいてきたけん民に対 して今後はそのふく
 しを如何に増進するかということにしよう点を当てて復歸
 準備を進めていただきたい。こうすることが、25年間そ
 国復歸を念願とし、心の支えとしてたえて来たけん民に本
 当の復歸のよろこびを与える所以と思う。

2. 復歸はしゆく願であるが、同時に不安慮がある点をし
 ん身に受止めて欲しい。不安慮の第1は今後の基地の態様

極秘

278

、しゆく明的のことは事実において示すことはいが、口
頭せん的になつてはならないと申述べ、上原の国政参加立
とう補との関係も検討に値いすると付加したが、弁務官は
、自分もその通りと思ふが、何分の協力及びアドバイスを
お願いしたいと述べた。

(1)

大蔵省外務局
参議院議員
文会館給
参議院議員
参議院議員

電信

総番号(予A) 37606
70年7月31日10時57分 津 緋 菊 北
70年7月31日18時01分 本 番 北

外務大臣殿 閣下 臨時代理大使 総領事 代理
三木・ヤラ会議

第233号 塔

長電米北/第/37号に門し

30日。三木前外務大臣一行とヤラ主席の会議の議主席の
さん備した要旨次の通り。(当方ヨシオカ公使同席)

1。おきなわ住民は戦争の犠牲の甚しい者となり戦後は戦
後進軍の一かんとしてけん民のふくしよりも進軍の先
の政策の甚しいとなつた。今後もアジアのため、日のためと
いうことでけん民がいつも「手段」に於かれ。その「フク
シ」が第2次的にされるのでないかという不安があるこ
とを先づそつ直に申し上げたい。従つて、かかる不安をた
えぬいてきたけん民に對して今後はそのふく
しを如何に増進するかということにしよう点を以て復歸
準備を進めていただきたい。こうすることが、25年間を
回復期を念願とし、心の交えとしてたえて来たけん民に本
当の復歸のよるこびを与える所以と思ふ。

2。復歸はしゆく正であるが、同時に不安心がある点をし
ん身に發せぬで欲しい。不安心の3/4は今日の復歸の

参議院議員
参議院議員
参議院議員
参議院議員
参議院議員

参議院議員
参議院議員
参議院議員
参議院議員
参議院議員

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

がどうなるかということである。(核、どくガス、B-5 2等の問題)。第2は社会経済面に及ぼす不安(米価、税法、開発計画、社会保障等)これらについては特例措置及び暫定措置を講ぜられる際、あたたかい御配慮が願わしい。

3. その他の要望としては民間資産の「買取」には割り切れない感情があり、また土地の復元補償、占領中の人身事故の補償の未解決なものについて、けん民の納得のいく措置をぜひお願いしたい。

(3)

—2—

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 37689 主管
 70年 7月 31日 18時 55分 沖 縄 発 着
 70年 8月 1日 02時 10分 本 省 米 北

外務大臣殿 高橋 大樹 臨時代理大使 総領事 代理

三木前大臣とフィアリー弁務官代理の会談

第237号 略 往院次233号に準じ

三木前大臣一行は3/日午後民政府にフィアリー弁務官代理を往訪したところ、会談の概要下記の通りの趣。(キッ、カヤ同席)

1. 三木前大臣より、村ナワ住民の感情には希望と不安が交差している。その不安とは復旧にともなうものもあるが、そのほかに米軍基地の態様が如何に変化するかという点を、基地依存度が高いこともあつて住民は大きな関心をいただいていると述べられたに対し、「フ」は同感の意を表すると共に、これらの問題点について米側としても出来る限り努力している。例えば国際収支の悪化にかかわらずおきなわに対する財政援助には急激な変化のないように配慮している。また、基地についても当分の間は基地存続を条件として経済全体の組立てを考えていくことに変わりはないが、基地そのものはえいきゆうに存続するものに非ず。究極的には基地のない経済図式を念頭において対処することが必要となる点も長期的にはよく認識している次第であると述

秘

石大 傳
 大政事外外領管
 務務 典務
 次次
 臣官官審審長長
 衛總人衛厚計
 備文會管給
 備
 国資長領移長
 参調 企
 参領旅移
 参地中東
 長 北東西
 米北保
 中南審
 吹 参一二
 長 参西東洋
 西
 近ア長
 参近ア
 次総経國万
 長 参費統
 参政技二
 国一理
 参策協規
 参政経科
 長 軍社專
 参道内外
 長 一二

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

べた。

2. 三木前大臣より、復帰の過程を日米友好増進のために役立てるには具体的に如何にすれば良いかと質されたのに対し、「フ」は、結局のところ、おきなわの経済開発のため日本が如何なる能力を誇っているかをばつきりさせることが大切ではないかと考えている。まつしたやその他のちよ名企業が計画を立てているが、それらの意図にはいま一つはつきりしない点もある。おきなわのGNPは過去5年または6年位の間に数倍となったが、この差はんを日本側が今後どのように引継いでいくかが大きなしろう点となろうと答えた。

3. 三木前大臣より、米軍人犯罪、毒ガス問題について米側の善処を求められたのに対し、「フ」はこれらの問題は弁務官、各軍司令官、民政官の最近の「主要な関心事である。先日自分は、主席に米軍人の犯罪は最近減小したと述べたと報ぜられたが、これはミスリーディングである。自分の述べた真実は、本年3月から6月までの第4半期について言えば、昨年同期に比し米軍人犯罪の数は増えているが、千人当りの発生率は減少していることを申し述べたまでである。また、事態の改善についての米りゆう両保安

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

当局の協議は順調で何らかの成果が期待できよう」と答えた。(コパヤン渉外局長は、後刻当方にワイエトナム歸りその他の要務で米兵の絶対数が増えたため、昨年同期に比し千人当りの統計では発生率が低くなっているわけであると述べた。)

(7)

3-

ソカヒ
万大
博阪

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

対

261

電信写

大政事外外總管
事務
典房
次次
臣官官審審長長
儀給入電厚計
儀給文会管給

國資長
領移長
參照行金
參照旅移

ア 參地中東
長 北西
參北北
中南審
歌 參西東洋
長 (東)

近ア長
經 參審近ア
次給經國万

長經協長
參實統
參政技二
國一理

長國
參政經科
軍社專
參道内外
長
文長
一一

総番号(TA) 37865 主管
70年8月1日20時20分 沖繩 務
70年8月1日21時53分 本省 着 米北1

外務大臣殿 高瀬大使 臨時代理大使 総領事 代理

三木前大臣記者会見

中244号平

本/日空港記者会見において三木前外相の述べられたところ要旨次の通り。

1. 3日間の滞在中官民から得た印象は、復帰に伴なり期待と不安の交さくした気持ということであろう。
2. これに対しては復帰にまつての(イ)暫定措置及び特例措置を早く決め、(ロ)将来の経済開発のウイジヨシと方向付けを明らかにし、(ハ)基地をめぐる諸問題に対処するための基地のあり方に関する基本構想を固めることが大切である。
3. しかし、このような決定は、事務的^経な処理のみ上げてはだめで、政治の最高レベルで基本方針を具体的に、かつ一刻も早く明らかにせねばならない。
4. 返かんは国際的には日米間にしこりを残すものとならないよう、むしろ日米間の一層の友好増進になるよう持つへ行くべきであり、国内的にはおきなわ首の政治不安や経

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

済困難が生ずるようになってはいけない。

5. このためには、日米りゆう三者のけん明な判断と努力が要求される。

6. (質問に答えて)このような考えは三木個人の構想ではなく自民党の考えであり、今後の施策や交渉も特定の人^内がやらねばならぬということではなく、要するに自民党内^の方針がなうということである。国内政局の問題は入^の時機にこの場所で取上げるのは適当でないということを重ねて明らかにしておきたい。

(了)

- 2 -

外務省

